

気候市民会議を開催し、
気候危機打開武蔵野市民活動プラン（仮称）を作成します

予算額 349万2千円

市では、令和3年2月24日に「2050年ゼロカーボンシティ」を表明しましたが、その後も深刻化する地球温暖化を背景に、地球温暖化対策の動きは世界的に加速していることから、市においても、今まで以上に、市民、事業者、市が地球温暖化の問題を自らの問題として強く認識し、市と市民等が一丸となって対策に取り組むことが求められています。

そのため、市では、市民が地球温暖化対策について主体的に議論する場として、無作為抽出と公募による市民で構成された**気候市民会議**を発足し、運営を始める予定です。

そして、気候市民会議の議論を踏まえ、市民一人ひとりの環境配慮行動を示す**気候危機打開武蔵野市民活動プラン（仮称）**を作成するとともに、市民の意見を参考に支援等の取り組みを行うことにより、市民の行動を後押しし、市民と市が協働して地球温暖化対策に取り組んでいく機運を醸成していきます。

また、国の地球温暖化対策計画の改定を受け、令和4年4月には目標値を上方修正するかたちで武蔵野市地球温暖化対策実行計画を改定する予定です。

●今後の主な予定

令和4年4月 市民向け周知及び無作為抽出アンケート実施

令和4年7月 市民会議発足・運営開始

《補足》

※気候市民会議とは、フランスやイギリス等で2019年頃から開催されている会議で、一般の市民が気候変動対策について話し合うものです。

※本市の気候市民会議の参加者は、無作為抽出と公募による市民で、最大40名程度を予定しています。全5回程度にわたる会議にご参加いただき、気候変動対策について議論いただきます。

《参考》

武蔵野市地球温暖化対策実行計画 2021（区域施策編）・武蔵野市気候変動適応計画 2021

http://www.city.musashino.lg.jp/shisei_joho/sesaku_keikaku/kankyoubu/1016917.html



計画掲載ページ